

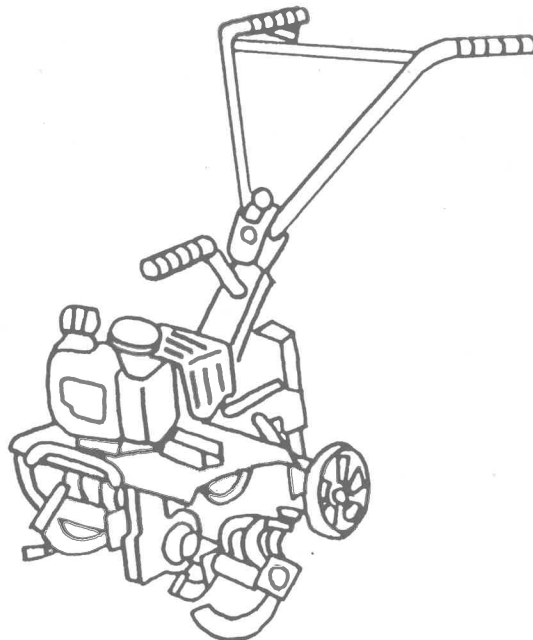
# 取扱説明書



## 小型管理機



# VAC235



ご使用前に必ずお読みください

## 管理機重要安全ポイント

---

1. 管理機や作業機を点検調整するときは  
必ずエンジンをとめてから行います。

---

2. ほ場への出入り・車への積みおろし・移動のときは  
エンジンをとめます。

---

3. 機械から離れるときは必ずエンジンをとめます。

安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要安全ポイントは上記のとおりですが、これ以外にも本文の中で安全上ぜひ守っていただきたい事項を **▲** を付して説明のつどとり上げております。よくお読みいただくと共に必ず守っていただくようお願いいたします。

# はじめに






- この度は、アグリップ管理機をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- 本商品は、畑の管理機として開発しておりますので、これ以外の用途には使用しないでください。
- この説明書は、管理機を使用する際にぜひ、守っていただき安全作業に関する基礎的事項、管理機を適切な状態で使っていただくための正しい運転、調整、整備に関する技術的事項を中心に構成しております。
- 管理機を初めて運転される時はもちろん、日頃の運転・取扱いの前にも初心に立ち返り入念に読み、十分理解され安全・確実な作業を心がけてください。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように保管してください。
- 管理機を貸与または譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解していただき、この取扱説明書を管理機に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買いあげいただいた、販売店までご相談ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、お買いあげの管理機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- もし、おわかりにならない点がございましたら、ご遠慮なくお買いあげいただいた販売店または当社営業所までご相談ください。
- 取扱説明書の中の  **重要** 表示は、下記のように安全上、取扱上の重要なことを示しております。よくお読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

表 示	重 要 度
 <b>危険</b>	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示しております。
 <b>警告</b>	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示しております。
 <b>注意</b>	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示しております。
 <b>重要</b>	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。 よく読んで商品の性能を最大限発揮してご使用ください。

# 目次

<b>安全のポイント</b> .....	1
安全な作業をするために .....	1
安全表示ラベルについて .....	5
安全表示ラベル貼付位置 .....	5
<b>保証とサービスについて</b> .....	6
<b>各部の名称とはたらき</b> .....	7
各部の名称 .....	7
エンジン各部の部品名称 .....	8
始動装置と取扱い .....	9
運転装置と取扱い .....	10
<b>作業前の点検</b> .....	12
各部の給油と注油 .....	13
<b>運転のしかた</b> .....	15
エンジンの始動と停止 .....	15
発進と運転のしかた .....	16
<b>作業のしかた</b> .....	17
作業に適した調節のしかた .....	17
持ち運びのしかた .....	18
<b>点検整備</b> .....	20
毎日の手入れ .....	20
長時間使用しない場合の手入れ .....	20
定期点検一覧表 .....	21
各部注油のしかた .....	22
各部オイルの点検・交換 .....	23

## 目 次

エアクリーナの清掃 .....	23
タンクキャップブリーザーの清掃 .....	24
フィルタの点検 .....	24
点火プラグの点検・調整のしかた .....	24
スロットルの調整のしかた .....	25
爪の組み方 .....	26
格納のしかた .....	27

<b>不調時の処置</b> .....	28
---------------------	----

<b>サービス資料</b> .....	29
---------------------	----

推奨潤滑油一覧表 .....	29
ハーネス結線図 .....	29
主要諸元 .....	30
付属工具一覧表 .....	31

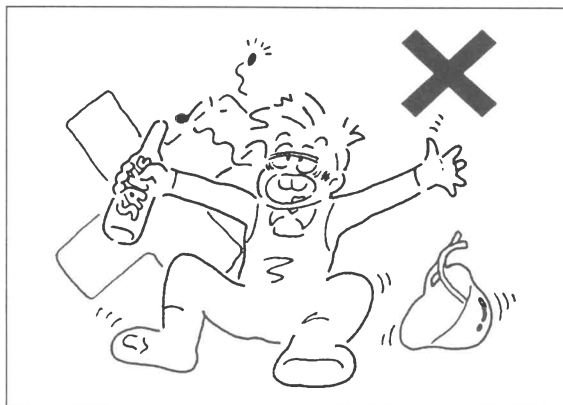
# 安全のポイント

本章では、機械を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しております。十分に熟読されて、安全な作業を行なってください。

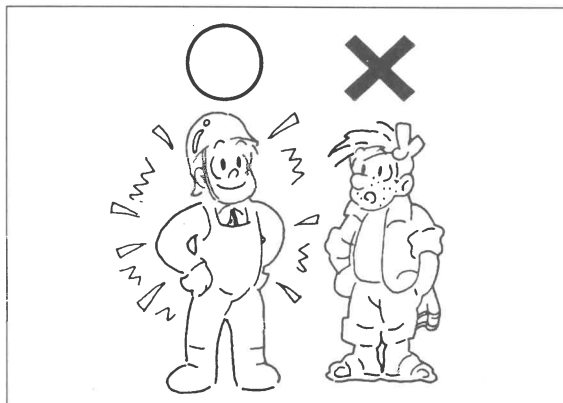
## 安全な作業をするために

### ■運転者の条件

- (1) この「取扱説明書」をよく読むことから始めてください。これが安全作業の第一歩です。
- (2) 飲酒時や過労ぎみの時、作業をしてはいけません。このようなとき作業を行なうと、誤操作などで傷害事故を引き起こします。作業するときは、必ず心身とも健康な状態で行なってください。



- (3) 服装は作業に適したものを着てください。服装が悪いと、衣服が回転部に巻き込まれたり、靴がスリッパしたりして大変危険です。ヘルメットや適正な保護具も着用してください。



- (4) 妊娠している人、18歳未満の人は運転をしないでください。

### ■人に機械を貸すときは

機械を貸すときは、取扱いの方法をよく説明し、使用前に取扱説明書を熟読するように指導してください。借りた人が、機械の運転に不慣れなため、傷害事故を引き起こすことがあります。

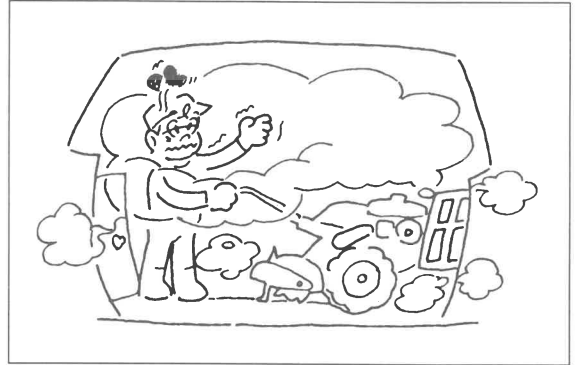
### ■作業を開始する前に

- (1) 無理のないゆとりのある作業計画を立てましょう。無理な作業計画は、あせりなどから傷害事故を引き起こすことがあります。
- (2) 作業する前に、この取扱説明書を参考に必要な点検は必ず行なってください。  
特に、スロットル関係は、忘れないでください。  
点検を怠ると、クラッチが切れなかったりして、走行中や作業中の傷害事故につながります。
- (3) 安全カバー類が外されたままになっていないか確認しましょう。外されたままエンジンをかけたり、作業を行なうと危険な部分が露出して大変危険です。
- (4) 燃料を補給するときは、くわえタバコなどの火気厳禁です。守らなかった場合、火災の原因になります。



### ■エンジンの始動と発進

- (1) 室内でエンジンを運転するときは、窓や戸を開けて、換気を十分に行なってください。換気が悪いと、排気ガス中毒を起こし大変危険です。
- (2) エンジンを始動するときは、必ずスロットルレバーを「切」にしてください。
- (3) 発進するときは、周囲の安全を確認して、ゆっくり発進してください。急発進すると、傷害事故を引き起こす恐れがあります。
- (4) エンジン始動と同時にロータ（刃物）が回転します。安全を確かめてから始動してください。けがの原因になります。
- (5) 始動するときは、ロータ（刃物）の前に立たないでください。けがの原因になります。
- (6) エンジン始動時は、本機をしっかり押さえ、周囲の人やものに十分注意してください。けがの原因になります。



### ■作業中は

- (1) 作業中は、作業員以外の人を機械に近づけてはいけません。機械自体や、作業による飛散物等で、傷害事故を引き起こす恐れがあり大変危険です。特に子供には注意してください。
- (2) 作業を開始するときは、周囲の安全を確認し、特に補助者とともに作業する場合は、声をかけて合図してから行なってください。怠ると、傷害事故の原因になり大変危険です。





- (3) 電気ショックを受けないようにするため、エンジン運転中は点火プラグやプラグキャップまたは、高圧コードに触れないでください。
- (4) 火傷をしないように、運転中あるいは運転停止直後にエンジンやマフラに触れないでください。点検や部品を取り外す時にはエンジンを止め、冷やしてから行ってください。
- (5) ロータ（刃物）などの回転部や、マフラ、エンジンなどの過熱部には、手を触れないでください。
- (6) 旋回する時は足もとに十分注意してロータ（刃物）にまきこまれないようにしてください。

### ■点検・整備

- (1) 点検・整備をするときは、「平らない場所」で必ず「エンジンをとめて」安全を確認してから行なってください。
- (2) 取外したカバー類は、危険ですから必ず元どおり取付けて使用してください。
- (3) ゴムなどの燃料チューブは古くなると、燃料漏れの原因となり危険です。3年ごと、また傷んだ時には、締付バンドとともに新品と交換してください。
- (4) エンジン点検時の不意な始動を避けるため、点検時には常に点火プラグからプラグキャップを抜いてください。

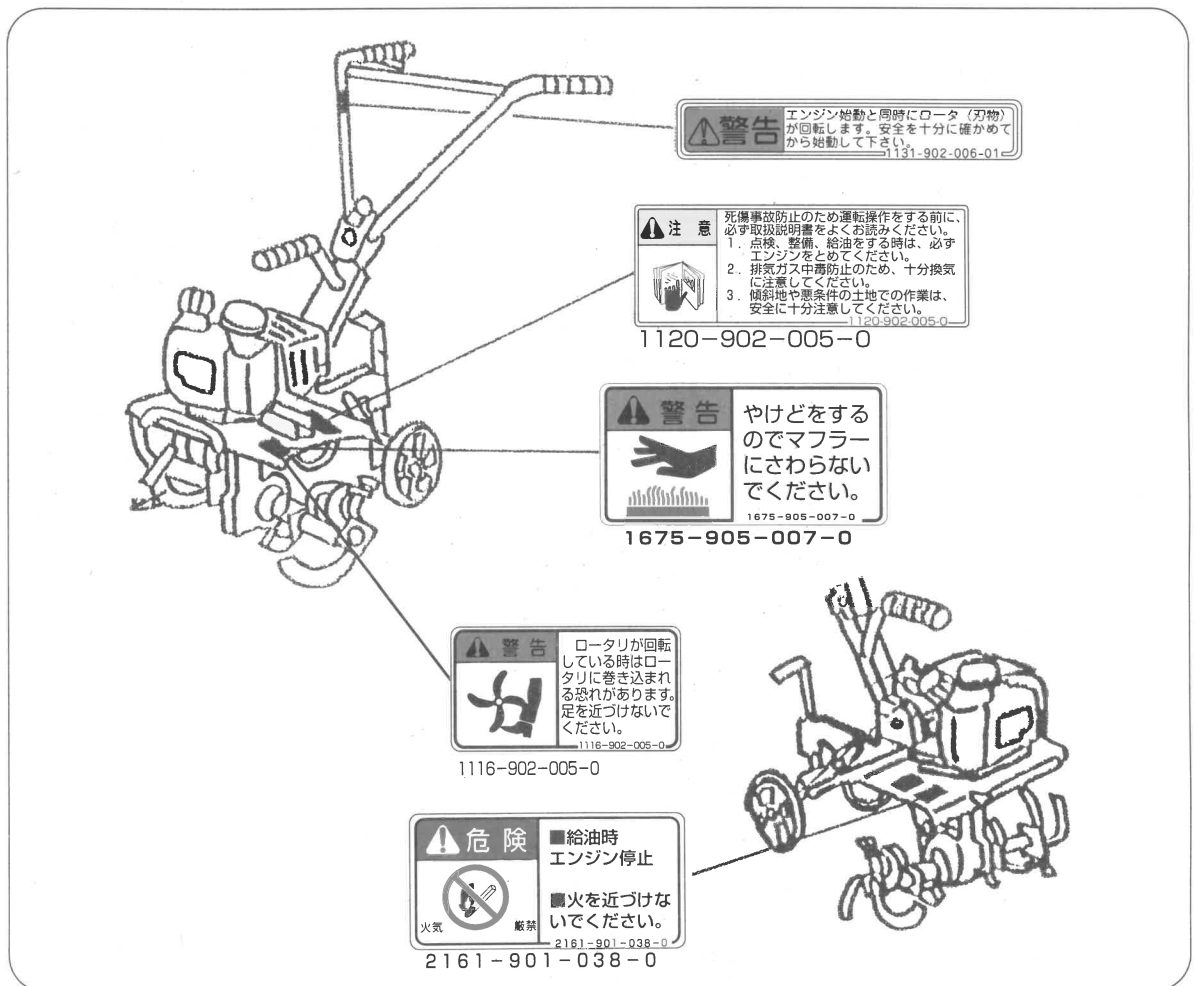
### ■夜間作業の禁止

- (1) 夜間作業は危険なのでしないでください。  
作業は早めに切り上げてください。暗くなるまで作業していると、事故を起こす恐れがあります。
- (2) 本商品は前照灯を装備しておりません。

## 安全表示ラベルについて

- 本機には、安全に作業をしていただくため、「安全表示ラベル」が貼付してあります。必ずよく読んで、これらの注意に従ってください。
- 安全表示ラベルが破損したり、なくなったり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。
- 汚れた場合は、きれいに拭きとり、いつでも読めるようにしてください。
- 高圧洗浄機で洗浄すると、高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 安全表示ラベルが貼付してある部品を交換する場合、同時に安全表示ラベルもお買いあげいただいた販売店までご相談ください。

## 安全表示ラベル貼付位置



# 保証とサービスについて

## ■新車の保証

この商品には、アグリップ保証書が添付されています。

詳しくは保証書をご覧ください。

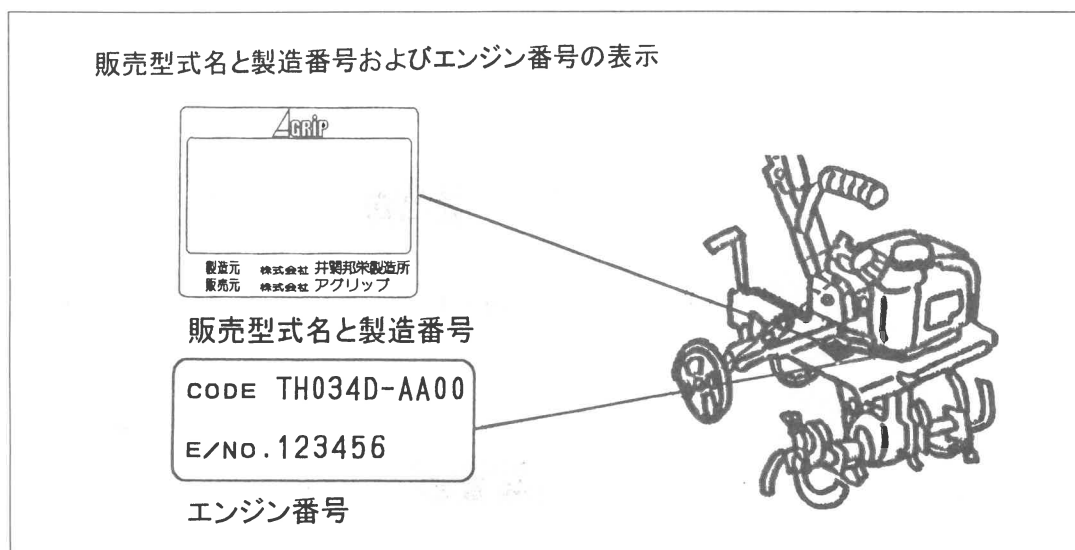
本製品の保証期間は、購入後1カ年間（業務用については6カ月間）となっております。

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスに関するご用命は、お買いあげいただいた販売店、または当社営業所までお気軽にご相談ください。

(1) 販売型式名と製造番号

(2) エンジン番号

をあわせてご連絡ください。



## ■補修用部品供給年限について

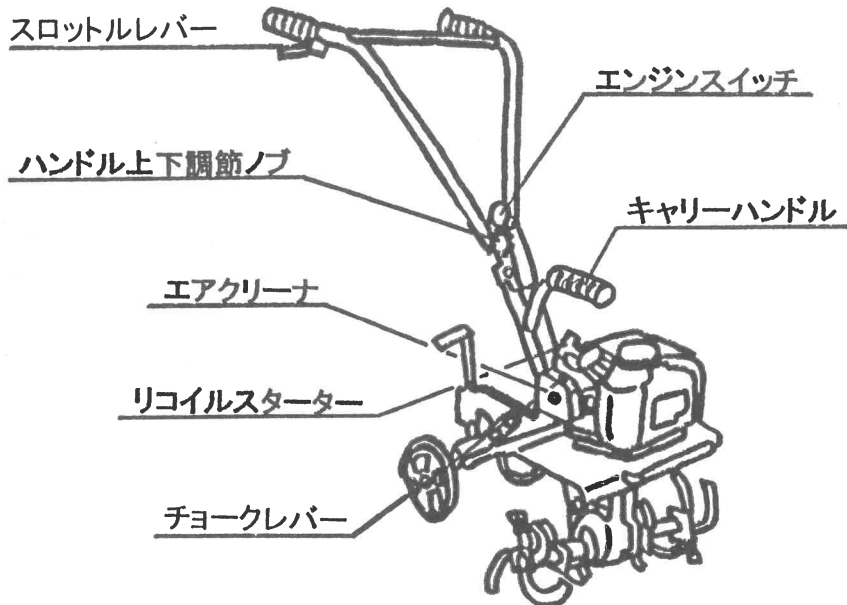
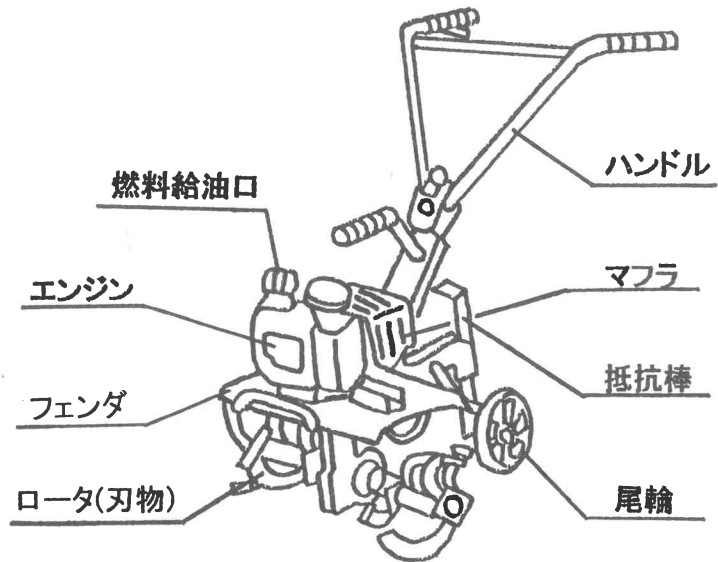
この商品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年といたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

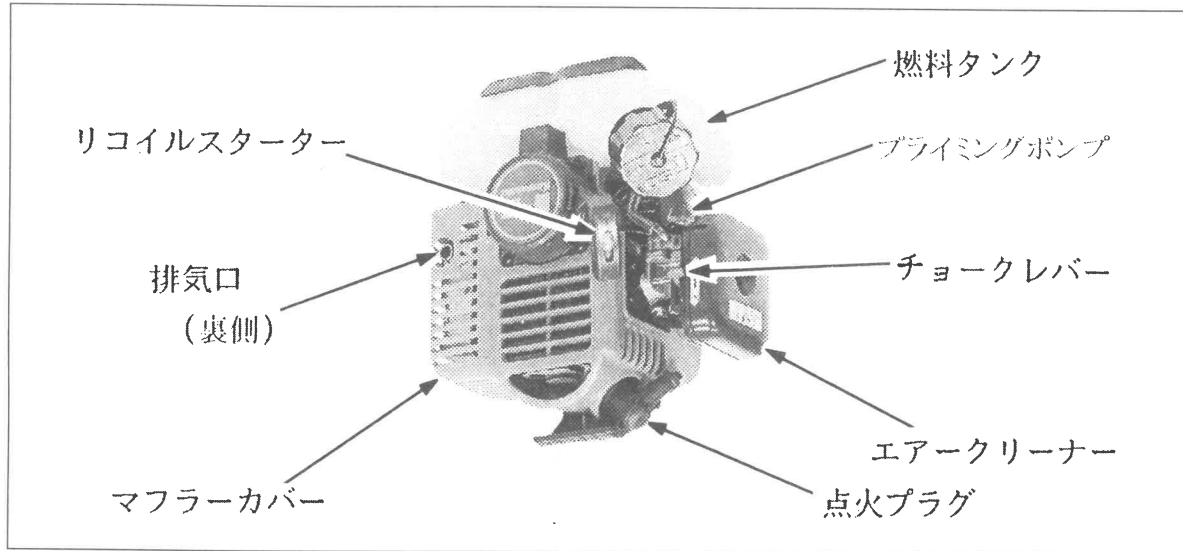
# 各部の名称とはたらき

## 各部の名称



## エンジン各部の部品名称

<右後方より見る>



### 警告

- エンジンの排気ガスには無臭で毒性の強い一酸化炭素が含まれていますので、密閉された場所では使用しないで下さい。
- 混合ガソリンは非常に引火性が強く、火災・爆発の危険性がありますので下記の注意事項をお守り下さい。
  - 給油する時には、エンジンを止め、冷やしてから行う。
  - 燃料タンクの給油口の根元部やレベルゲージの上限を越えて、混合ガソリンを入れないこと。入れすぎると運転中に振動や温度上昇による膨張によりタンクキャップから洩れることがある。
  - こぼれた混合ガソリンは直ちに拭き取る。
- 火災防止のため下記の注意事項をお守り下さい。
  - 建物や障害物等可燃物から少なくとも1m以上エンジンを離す。
  - エンジンの近くに可燃物を置かない。
  - マフラーの近くに可燃物を置かない。

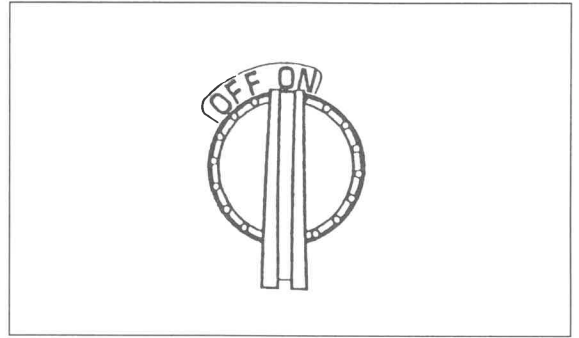
## 始動装置と取扱い

### ■エンジンスイッチ

エンジンを運転状態と停止に切替えるスイッチです。

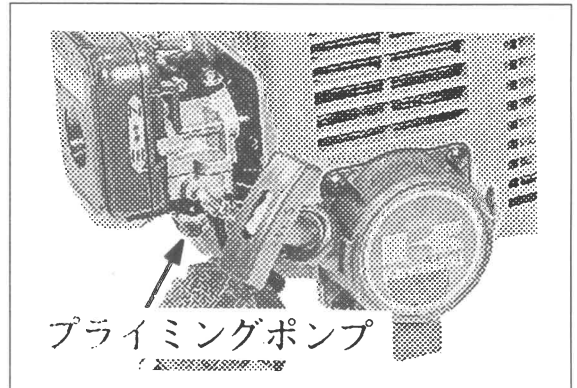
ON……エンジンが運転状態になります。

OFF……エンジンが停止状態になります。



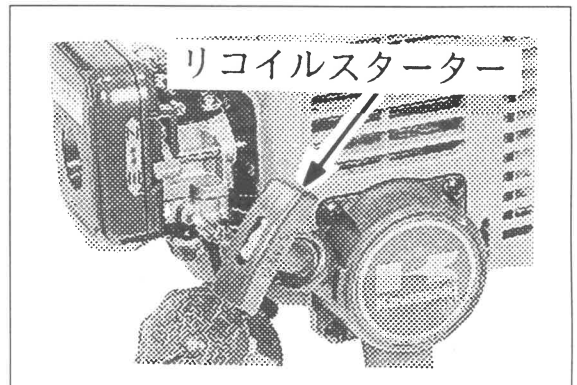
### ■プライミングポンプ

始動時、このポンプを押してキャブレター内に燃料を送り込みます。



### ■リコイルスターター

エンジンを始動する時、このノブを勢いよく引っ張ります。

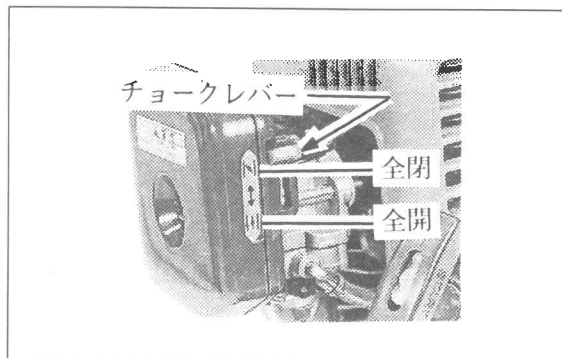


### ■チョークレバー

エンジンの始動時に操作します。

#### 重要

始動後はエンジンの調子を見ながら、徐々に全開位置まで戻してください。全閉位置のままだと、エンジンが不調になります。

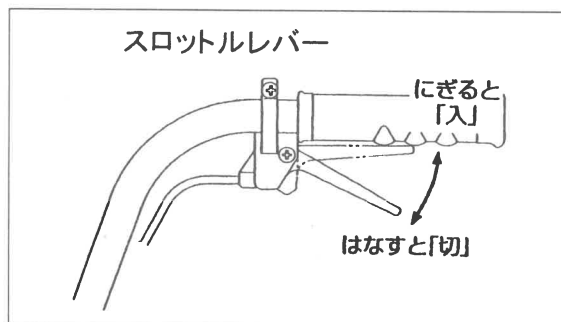


## 運転装置と取扱い

### ■スロットルレバー

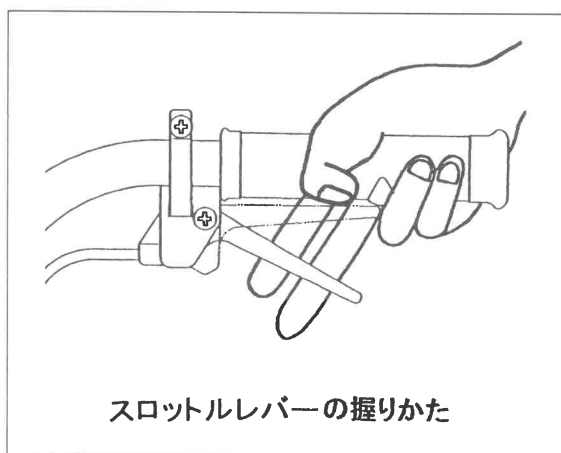
エンジンからの動力伝達を「入」 $\leftrightarrow$ 「切」するレバーです。

ハンドルと一緒ににぎると「入」となり、はなすと「切」となります。



### ■スロットルレバーの握りかた

クラッチレバーは右図のように人差し指と中指で握るようにしてください。



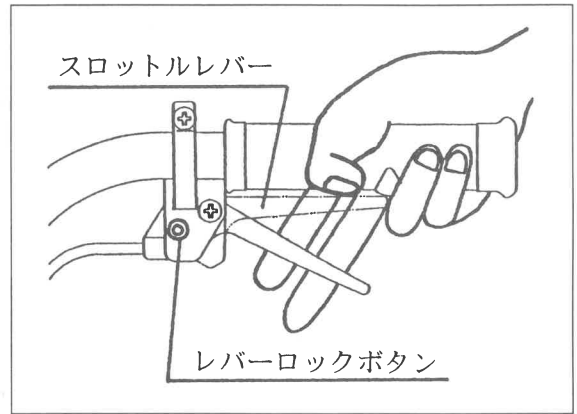
### ■スロットルレバーのロック機構

このスロットルレバーにはレバーロック機構がついています。

チョークレバーを操作してもエンジンがかかりにくいときに使用します。

#### 操作のしかた

- (1) スロットルレバーを握ってください。
- (2) レバーロックボタンを押し続けた状態でスロットルレバーから指をはなしてください。するとロックがかかり、アイドリング状態より少し高いエンジン回転を維持するようになります。
- (3) 解除するときは、ロックがかかっている状態から、すこしスロットルレバーを握れば解除します。



#### 注意

- この機構はエンジン始動時以外では使用しないでください。
- 解除するときにスロットルレバーをいっぱいまで握らないでください。機体が急に走り出すことがあります危険です。



#### 警告

- エンジン始動と同時にロータ（刃物）が回転します。安全を充分確かめてから始動してください。けがの原因になります。
- 始動するときは、ロータ（刃物）の前に立たないでください。けがの原因になります。
- エンジン始動時は、本機をしっかり押さえ、周囲の人や物に十分注意して下さい。けがの原因になります。



# 作業前の点検

機械を長持ちさせ、安全に作業するために、毎日作業前に必ず行ないましょう。



## 注意

- (1) 点検の時は、必ずエンジンを停止してから、行なってください。
- (2) エンジンが動いている時やエンジンが熱い間は、注油、給油は絶対しないでください。

もし、これらを守らないと……

傷害事故を引き起こすことがあります。



## 危険

燃料給油時は、火気厳禁です。必ずエンジンを停止してください。  
引火のおそれがありますので、くわえタバコなど絶対しないでください。

くわえタバコをすると……

ヤケドや火災の危険があります。

点検箇所	点検方法	処置方法
エアクリーナ	エアクリーナのエレメントが汚れていないか。	ほこりが多い作業では3時間毎に清掃。(または1日1回清掃)
燃料タンク	作業に必要な量入っているか。	補給
スロットルレバー	アイドリングで爪軸が回っていないか。	スロットルケーブルの張りの調整

## 各部の給油と注油

## ■燃料

## 使用燃料について

本機の燃料は、2サイクル専用オイルと自動車用無鉛ガソリンを一定の割合で混ぜ合わせた混合ガソリンを使用してください。

 **警告**

ガソリンは引火性が強く危険なため、燃料を取扱うときは周囲に火気のない換気のよい場所で行ってください。

- 燃料の混合比は、2サイクルエンジンオイルの種類により下記の通り使用してください。

**[50 : 1]** JASO性能分類 FC相当品

- 燃料混合比率表

ガソリン	2サイクル専用オイル
リットル	mL
	50 : 1
1	20
4	80
8	160

- タンクキャップとブリーザーの取付き確認（燃料給油毎）ブリーザー、そしてタンクキャップとブリーザー各々の取付き状態が悪いと燃料タンク内の燃料が濡れることがあります。燃料を給油した時には正しい取付き状態となるようにして下さい。

A : タンクキャップ B : 通気口

C : ブリーザー D : ブリーザーチューブ

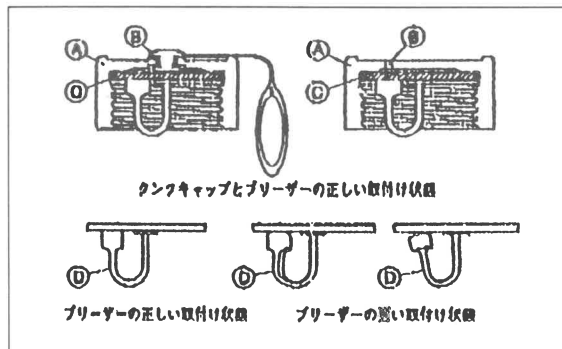
## 正しい取付き状態

- (1) タンクキャップの内側溝部へブリーザーがキチンとはまっている。
- (2) ブリーザーのチューブがねじれ無くキチンと取付けられている。

 **注意**

## JASO性能分類

使用者が2サイクル専用オイルの選択を容易にできるように「FC、FB、FA」の3種類に性能分類し容器に表示しています。混合比50 : 1に混合する場合は必ず「FC」表示された2サイクル専用オイルを使用してください。


 **注意**

## 1. ガソリンとオイルの混合

- 混合比が不適正であったり、2サイクルエンジンに不適切なオイルを混合しますとエンジン性能を低下させ、運転不調や焼付きなどの原因となることがあります。

## 2. 変質燃料に注意

- 長期間保管した燃料は、ガソリンの成分が変質している場合がありますので充分注意して下さい。燃料の色が変色していたり、異臭がするような燃料は使用しないで下さい。

## 3. 水、ゴミの混入チェック

- 燃料中に水やゴミが混入していないかチェックして下さい。ゴミがキャブレタ内に入ると燃料や混合気の通路をふさぎ、エンジン不調の原因となります。

## 4. 保管容器は金属容器で

- 農薬や家庭用洗剤等の容器は、燃料を変質させる場合があるため絶対に使用しないで下さい。
- 燃料の保管容器は、できるだけ密閉可能な金属容器とし、燃料専用としてご使用下さい。

## 5. 保管場所は冷暗所で

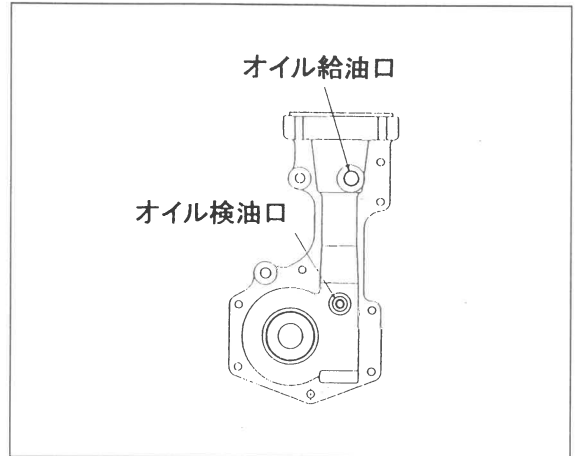
- 燃料は火災予防や燃料の変質防止のため、火気のない暗くて冷たい場所に保管して下さい。

### ■ミッションケースオイル

- (1) ミッションケース内にはオイルを組立時に注入しています。(約120cc)
- (2) オイル点検  
検油口ボルト穴まで入っているか。

### 重要

オイル交換による廃油を下水や土壤に捨てたり、焼却すると、環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。販売会社、サービス工場にご相談ください。



# 運転のしかた

## エンジンの始動と停止

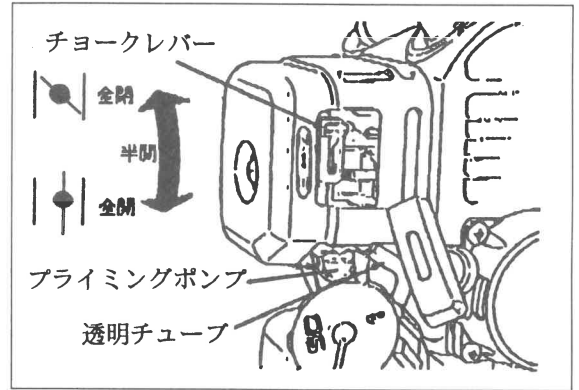
### ■始動のしかた

#### ●エンジンが冷えている時

- (1) エンジンスイッチを「ON」の位置にしてください。
- (2) プライミングポンプを指で数回押して透明チューブから燃料が流れ出る事を確認してからプライミングポンプを押す事を止めてください。プライミングポンプを押す事によりオーバーフローした燃料は、タンクに戻る構造になっていますので十分にプライミング操作を行ってください。
- (3) チョークレバーを「全閉」にしてください。
- (4) キャリーハンドルを片手で握っておいてリコイルスターターを重さを感じる位置から勢いよく引っ張ってください。
- (5) 始動したらエンジンの調子を見ながらチョークレバーを「全開」に戻して行き、最後には完全に戻してください。

#### ●エンジンが暖まっている時

- (1) プライミングポンプを押してください。
- (2) リコイルスターターを勢いよく引っ張ってください。



### 注意

- (1) 機械のまわりに人を近づけないでください。
- (2) 閉めきった場所で運転をしないでください。
- (3) エンジン始動時にはレバーの位置と安全を確認してください。

### 重要

運転前には必ず始業点検を行なってください。  
(作業前の点検)

### ■停止のしかた

スロットルレバーから手を放し、エンジン回転を下げエンジンスイッチを「OFF」位置にするとエンジンが停止します。



### 発進と運転のしかた

#### ■発進のしかた

徐々にスロットルレバーを握り、ゆっくり発進してください。



#### 重要

ロータが土にもぐり、クラッチが滑るような場合は外側のロータ（刃物）を外して作業を行ってください。



#### 警告

- 急にスロットルレバーを握ると機体が急発進し、大変危険です。特に狭い場所では徐々にスロットルレバーを握り、ゆっくりと発進してください。
- スロットルレバーを握るとロータが回ります。舗装面ではスロットルレバーを握らないでください。また固い畑では抵抗棒を地面に突っこむように入れておいてスロットルレバーを徐々に握ってください。

# 作業のしかた

## 作業に適した調節のしかた

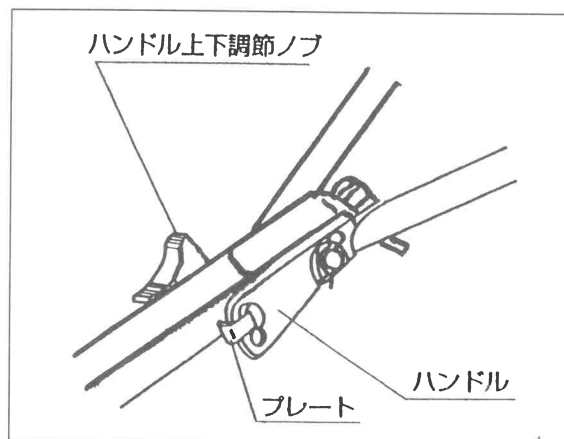
### ■ハンドル調節のしかた

体格や作業状態にあわせてハンドル高さを調節してください。この時、エンジンは、必ず「停止」してください。

ハンドル上下調節ノブを緩めると、ハンドルが3段階調節できます。

ハンドルを調節する場合は、抵抗棒が地面についた状態でおこなってください。ハンドル上下調節ノブを緩めたとき、急に前が下がる場合がありますので注意してください。

ハンドル上下調節ノブを締めつけるときは、プレートがハンドルに乗り上げない位置で締め付けてください。



### ■抵抗棒

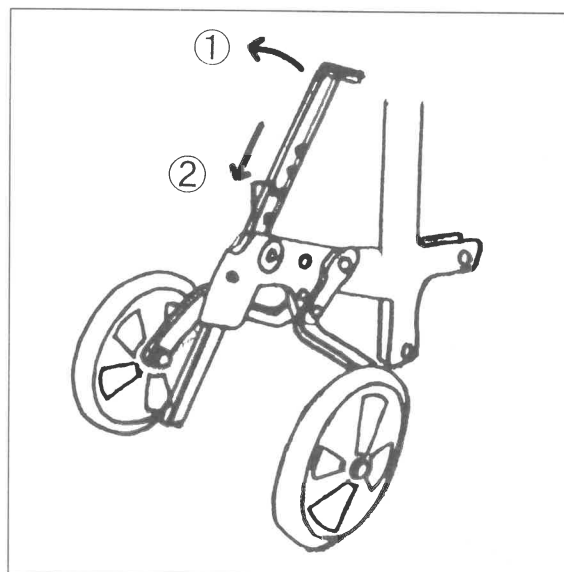
耕うん深さを調節したり、機体が前方へ走るのを防止する役目をします。耕うん深さは抵抗棒を上下に移動することによって調節します。

抵抗棒を上げる……………耕深が深くなる。

抵抗棒を下げる……………耕深が浅くなる。

#### 深さの調節

- ①抵抗棒を手前に引いてください。
- ②抵抗棒を押し下げて（引き上げて）深さを調節して下さい。



■尾輪

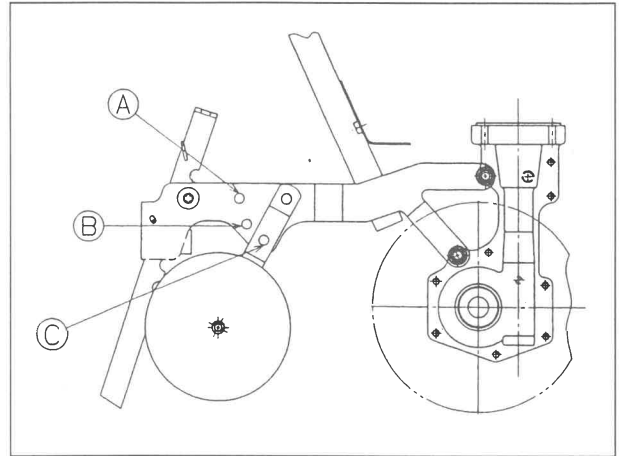
移動するとき、耕深を調節するときに使用します。

作業するときはピンを差す穴位置を変えることにより耕深を調節します。

A の位置 作業用 (深)

B の位置 作業用 (浅)

C の位置 移動用



持ち運びのしかた

■機体を持ち上げる場合

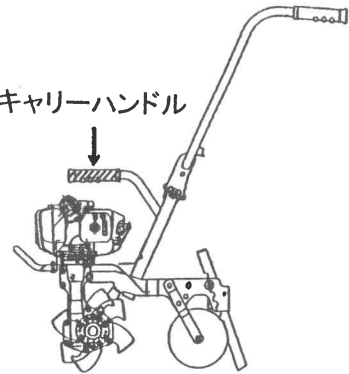
車への積み込み、積み下ろしの時はエンジン上部のキャリーハンドルを持って持ち運んでください。

■機体を移動する場合

抵抗棒を上げ、機体の前が浮くようにハンドルを下げながら押し、移動してください。

■機体を持ち上げる場合

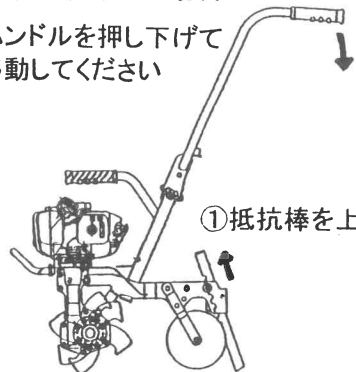
キャリーハンドル



■機体を移動する場合

②ハンドルを押し下げて移動してください

①抵抗棒を上げ



重要

フード等の外装部品を持つと破損や変形する恐れがありますので持たないでください。



危険

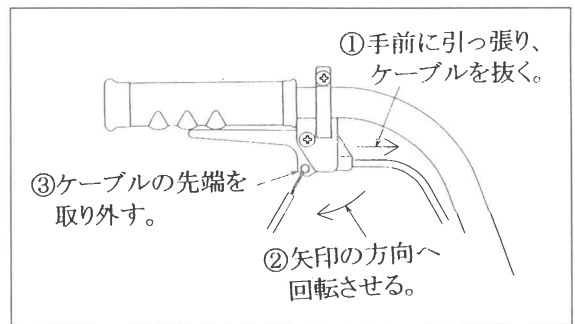
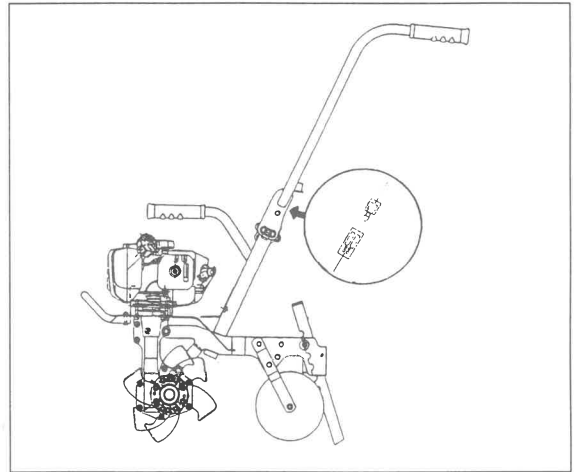
必ずエンジンを停止してください。  
停止しないとロータ(刃物)が不意に回転しケガをする恐れがあります。

## ■ハンドルの取り外し

この機械は運搬、収納しやすいようにハンドルが取り外せるようになっています。

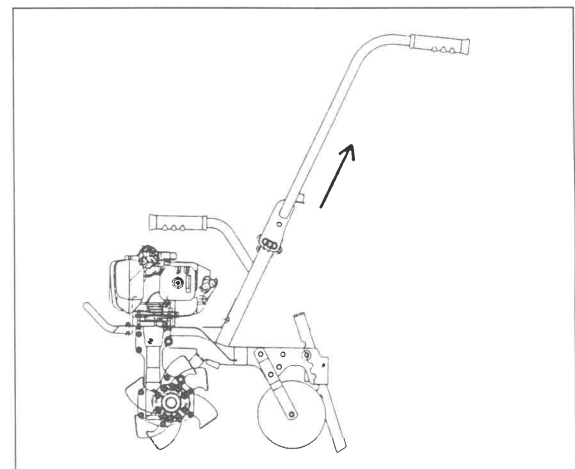
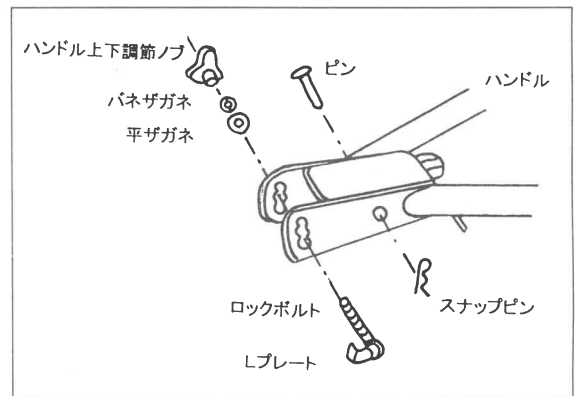
### 取り外し方法

- (1) エンジンスイッチから出ている配線の端子を外してください。
- (2) 右図の順番でスロットルケーブルを外してください。
- (3) ハンドル上下調節ノブを緩めてロックボルトから外してください。この時、急にハンドルが下がることがありますので注意してください。
- (4) ピン、スナップピンを取り外してください。
- (5) ハンドルを取り外します。



### 再取り付け方法

- (1) ～ (5) を逆に組付けてください。
- 組付け後、次の確認をして下さい。
- (1) 端子はビニールのひまく被覆の中で確実に差込まれているか。
  - (2) スロットルレバーの動きはスムーズか。
  - (3) エンジンの回転はアイドリング状態になっているか。
- その時、ロータ（刃物）は回らないか。



### 警告

乗用車のトランクなどに入れて運ぶときは、必ず燃料を抜き取ってください。

入ったままで運ぶとタンクキャップから燃料がこぼれる場合があります。



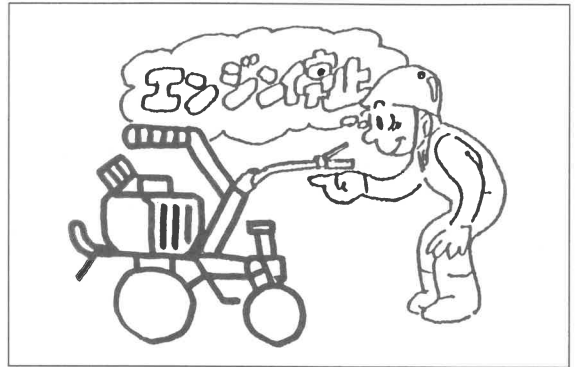
# 点検整備

## 毎日の手入れ



### 注意

機械の手入れをするときは、必ず  
エンジンを止めてから行なっ  
てください。



- (1) 本体やロータリ部分についた土、ワラ、草や  
よごれなどを落としてください。
- (2) 水洗いするときは、フェンダから下部のミッ  
ション、ロータ、抵抗棒回りとし、エンジン  
及び電装品には注意してください。
- (3) エアクリーナのエレメントについた土や、ほ  
こりを落としてください。

## 長期間使用しない場合の手入れ

- (1) 長期格納の項 (27ページ) をよくお読みくだ  
さい。



**注意**

給油及び点検整備するときは、

- ①機械を平たんな広い場所に置き、②エンジンを止め、③エンジン各部が十分冷えてから、安全を確認しながら行なってください。

安全を確認せず点検整備をすると……

傷害事故を引き起こすことがあります。

**定期点検一覧表** —— 専門的な技術や特別な工具を必要とするときは、販売店にご相談ください。

○点検・補充・調整

△清掃・洗浄

●交換

■サービス工場に依頼

区分	項目	日常点検	定期点検・整備時間 (Hr)							その後の点検	日常点検・判定基準
			20	40	60	80	100	120	140		
エンジン	エアクリーナーの清掃	△	△	△	△	△	△	△	△	10時間毎に清掃	ほこりの多い作業では3時間毎又は1日1回清掃
	燃料フィルタの清掃		△	△	△	△	△	△	△	20時間毎に清掃	
	燃料	○									
	点火プラグの清掃と調整				△		△		△	50時間毎に清掃及び交換	
	燃料タンク内部の清掃									1年に1度清掃	
	ボルト・ナットのゆるみ	○	○	○	■	○	■	○	■		ゆるみがないこと
	各部の損傷・漏れ	○									損傷・漏れがないこと

## 点検整備

○点検・補充・調整

△清掃・洗浄

●交換

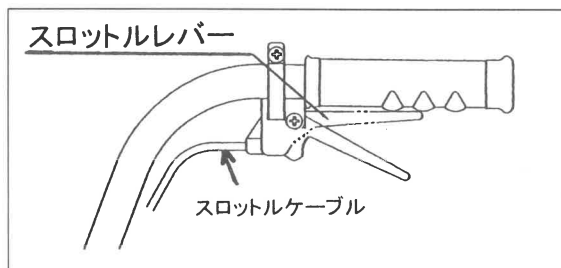
■サービス工場に依頼

区分	項目	日常点検	定期点検・整備時間 (Hr)						その後の点検	日常点検・判定基準	
			10	20	40	60	80	100			120
本	各レバー類の作業点検	○									作動が円滑で確実なこと
	各部ボルト・ナットのゆるみ	○	○	○	○	○	○	○	○		ゆるみがないこと
	各ピン類の確認	○									損傷・脱落がないこと
	油漏れの確認	○									油漏れがないこと
体	各ワイヤーの調整		○	○	○	○	○	○	○		
	各ワイヤー	○								2～3年ごとに交換	
	エンジンストップスイッチ・リード線	○								2～3年ごとに交換	ショート及び傷がないこと

## 各部注油のしかた

定期的に油さしで注油（清浄な潤滑油）してください。

### ■スロットルケーブル



## 各部オイルの点検・交換

### ■ミッションケースのオイル

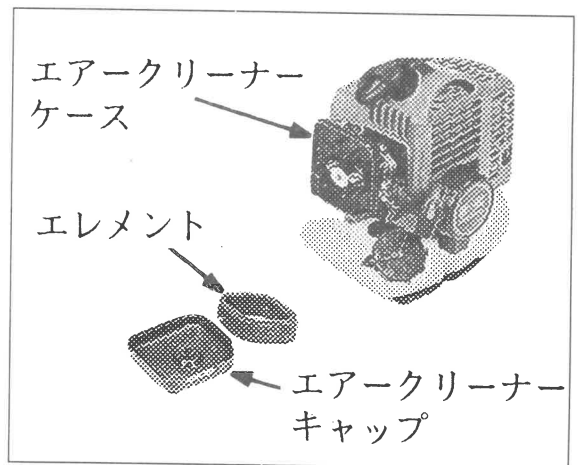
各部の給油と注油の項（14ページ）をよくお読みください。

#### 重要

オイル交換による廃油を下水や土壤に捨てたり、焼却すると、環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。販売会社、サービス工場にご相談ください。

## エアクリーナーの清掃

- (1) エアクリーナーキャップの取付スクリュを外し、エアクリーナーキャップを外してください。
- (2) エレメントを外し、エレメントを取出し、高引火点の溶剤（引火しにくい溶剤）で洗い、混合燃料に浸し、固くしぼってください。



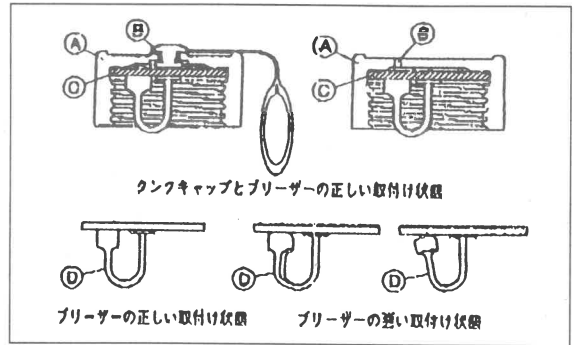
#### 注意

ほこりの多い所で使用した場合の清掃は、1日1回または3時間毎に行ってください。

## タンクキャップブリーザーの清掃

タンクキャップにはブリーザーパイプ（通気孔）が付いています。この通気孔が塞がると燃料がキャブレターへ、流れなくなりエンジンが始動不能や回転不調となりますので点検、清掃して下さい。点検あるいは清掃後は正しい取付状態となるようにして下さい。

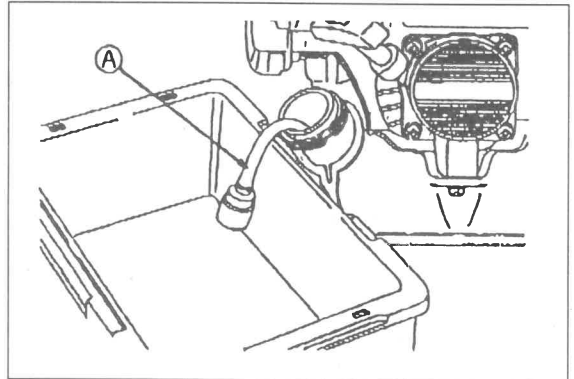
(1ヶ月または20時間毎)



## フィルタの点検

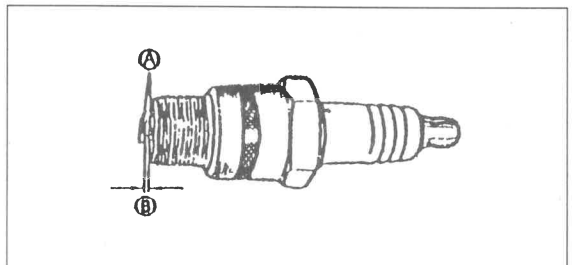
燃料タンク内より、燃料を抜き取ってから燃料フィルタ①を取り出してフィルタの汚れを点検して下さい。汚れがあれば販売店と相談して下さい。

(1ヶ月または20時間毎)



## 点火プラグの点検・調整のしかた

- (1) プラグレンチで点火プラグを外し、電極部分①にカーボンが付着していたらワイヤブラシでそれを除去し、湿りがあればそれを拭き取ってください。
- (2) 中央陶器部にヒビワレ、また電極部分に消耗が認められた場合には点火プラグを新品に交換してください。
- (3) 点火プラグの電極隙間②を0.7～0.8mmに調整してください。

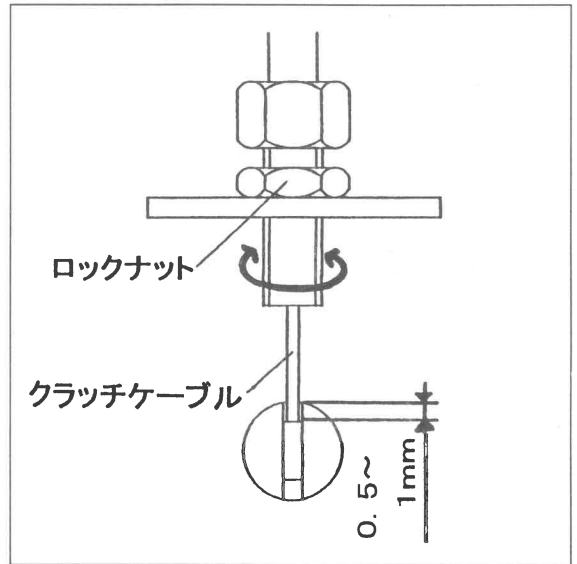


- 締付け時は、はじめ手でねじ込んでからプラグレンチを使用してください。はじめからプラグレンチで締め込むと、ネジ山を潰すことがありますので注意してください。

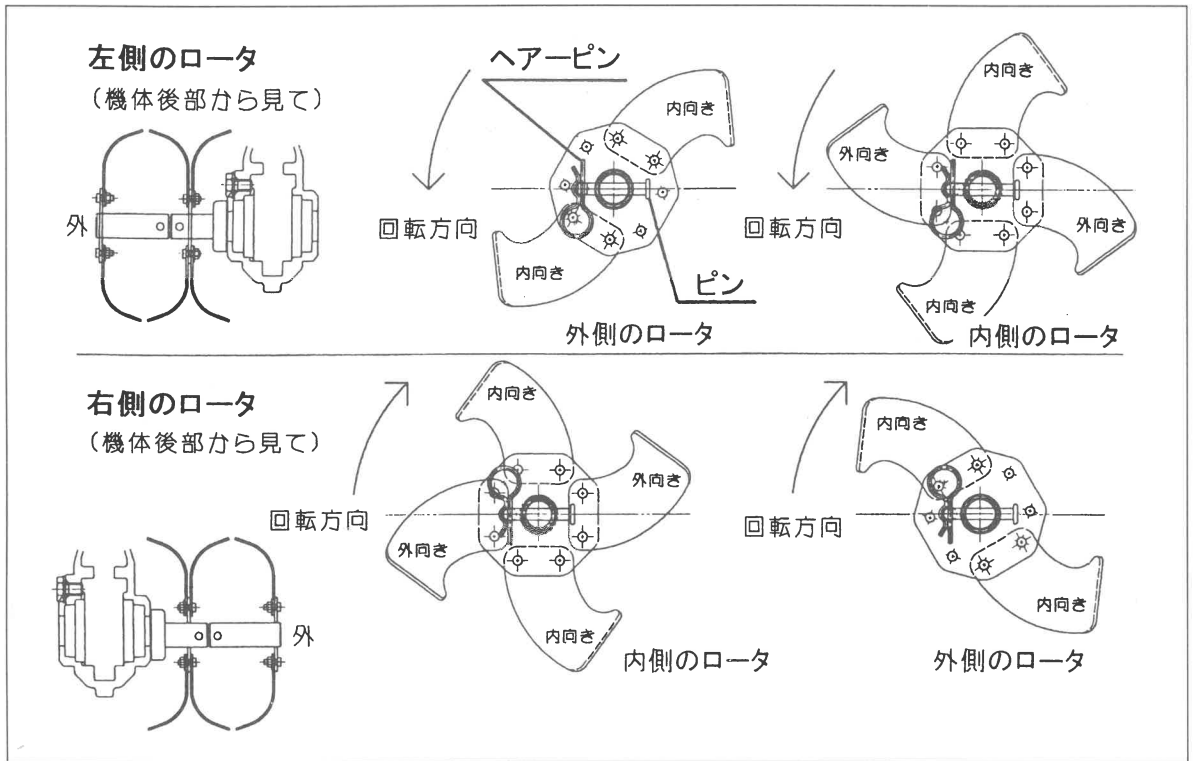
## スロットルの調整のしかた

スロットルケーブル調整部はエンジンキャブレター上部にあります。

スロットルワイヤーの外索の遊びが0.5mm～1.0mm程度になるようにキャブレター上部の調整ネジの位置を決め、ロックナットにより確実に固定します。



## 爪の組み方



爪の組付け方向は左右で異なります。

また、外側（爪2本）と内側（爪4本）も異なるので注意して組付けてください。

### ■爪ASSYでの交換

- (1) 爪を止めているピンのヘアーピンを外し、ピンを抜き爪を外側に引っ張ると爪はミッションケースから外れます。
- (2) 爪を組み立てる時のヘアーピンの方向は図の通りにしてください。  
逆にすると作業中に抜けることがあります。

■爪、ピンは消耗品です。磨耗したら早めに交換してください。

(販売店にご注文ください。)

\*\*\*\*\*

**警告**

爪を交換する時は手袋を着用してください。

\*\*\*\*\*

### 重要

- (1) 爪の内外の向きをまちがえないようにしてください。
- (2) 爪の配列は左右の爪軸が対称になるように組んでください。

## 格納のしかた

### ■日常時の格納

日常の格納および短期間の格納は、次の要領で行なってください。

- (1) 管理機はきれいに清掃しておきましょう。
- (2) 格納は、できる限り屋内にしてください。

### 重要

洗車時は、電装品、給油口などに、圧力水をかけないでください。

### ■長期格納

管理機を長い間（2ヶ月以上）使用しない時は、きれいに清掃し、次の要領で格納してください。

- (1) 不具合箇所は整備してください。
- (2) 機体を傾けて燃料タンク内の燃料を抜いてください。タンクが空になってから、さらにプライミングポンプを押してキャブレター内の燃料も出してください。
- (3) エンジンを始動してください。しばらく回り続けるうちに（約2～3分）キャブレター内の燃料がなくなって停止します。完全に停止してからエンジンスイッチを「OFF」にしてください。
- (4) 各部の給油を必ず行ってください。
- (5) 各部のボルト、ナットのゆるみを点検し、ゆるんでいれば増締めしてください。
- (6) 格納場所は、周囲にワラなど燃えやすいものがなく、雨のかからない乾燥した場所を選び、シートをかけるようにしましょう。
- (7) エンジンは、リコイルスターターで回転させ、圧縮を感じる位置で格納してください。

### ■長期格納後の使用

長期格納後の再使用時は、次のことに注意してください。

- (1) 作業前の点検を確実にこなってください。
- (2) エンジンの寿命、性能を保つため、エンジン始動後は、アイドル回転で、5分ほど運転してください。

### 重要

オイル交換による廃油を下水や土壤に捨てたり、焼却すると、環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。販売会社、サービス工場にご相談ください。



### 注意

燃料を残したままで格納すると気化器内各部の通路が詰り、エンジン不調の原因となります。



# 不調時の処置

故障原因	原因	処置
エンジンがかからない。	○燃料がなくなっていないですか。	○燃料の補給
	○エンジンの始動手順がまちがっていませんか。	○正しい始動手順でエンジンをかける。
	○キャブレターに燃料が入っていますか。	○プライミングポンプを押してキャブレターに燃料を送る。
	○点火プラグが悪くなっていますか。	○点火プラグをはずし、乾いた布で拭くか、火であぶってよく乾燥させる。 ○点火プラグの火花スキマを調整する。それでもかからない場合は新しい点火プラグと交換する。
エンジンの力がない。	○エアクリーナにゴミがつまっていますか。	○エレメントを取り外し、きれいに掃除するか、新しいエレメントと交換する。
	○スロットルレバーの遊びが多くありませんか。	○スロットルケーブルを適切な張りに調節する。
	○エンジンの回転は上がりますか。	○スロットルケーブルを適切な張りに調節する。
	○エンジンの圧縮はありますか。	○点火プラグを締め付ける。 ○ピストンリングなどの摩耗も考えられますので購入先に相談する。
	○エンジンがひどく熱い。	○冷却風入口のゴミを取り除く。
エンジンが自然に止まる。	○燃料がなくなっていないですか。	○燃料の補給
	○エアクリーナにゴミがつまっていますか。	○エレメントを取り外し、きれいに掃除するか、新しいエレメントと交換する。
	○リコイルスタータを引いたときエンジンは回りますか。	○回らなかったり、重い場合には購入先に相談する。
	○ロータ部に草やワラがまきついたり、カバーに土がつまったりしていませんか。	○スイッチを切り、エンジンを止めてから、草やワラを取り除く。
エンジンは回っているが爪が回らない。	○耕うん幅が広すぎませんか。	○外側のロータを外してください。
各部に振動が多い。	○エンジンの取り付けボルトが緩んでいませんか。	○エンジンの取り付けボルトを締め直す。

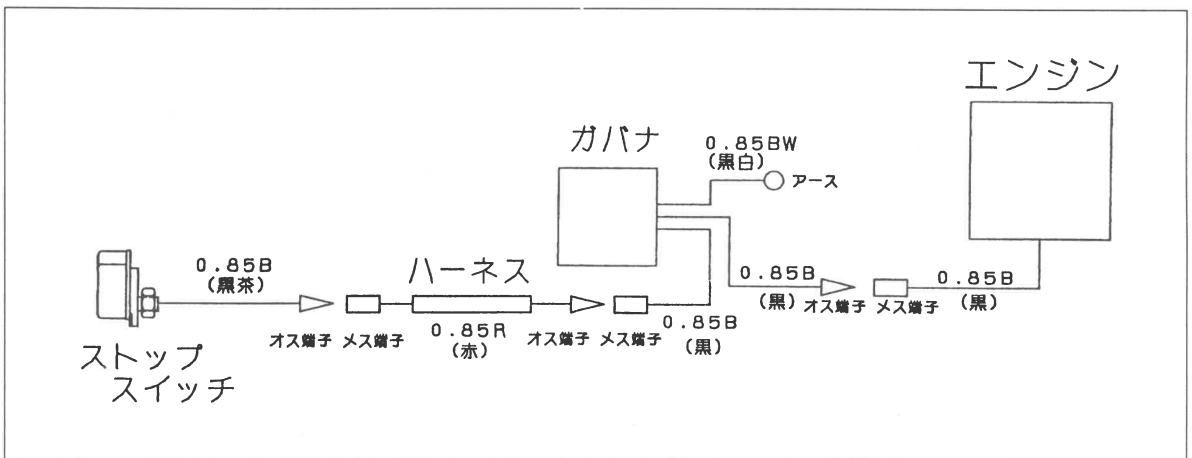
不調時はむやみに分解しないで、早めにお買い上げいただいた販売店または当社営業所にご相談ください。

# サービス資料

## 推奨潤滑油一覧表

区 分	メーカー名	商 品 名	納車時充填油
混合用エンジンオイル	有名メーカー品	2サイクルエンジンオイル JASO性能分類 FC相当品	
ミッションケースオイル	旭 油 脂	ギヤーオイル (#460) (ウォームギヤー専用)	○
燃 料	有名メーカー品	自動車用無鉛ガソリン	

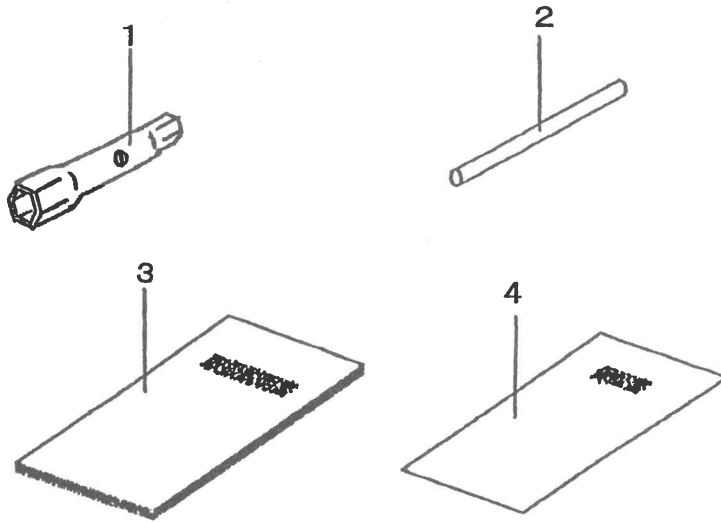
## ハーネス結線図



## 主要諸元

	型 式 名	VAC235
機 体 寸 法	全 長 (mm)	874
	全 幅 (mm)	397
	全 高 (mm)	929
	機体重量(乾燥) (kg)	16
エ ン ジ ン	型 式 名	TH034D
	種 類	空冷2サイクルエンジン
	総 排 気 量 (cc)	33
	出力/回転速度 PS(kw)/rpm	2.0ps(1.5kw)/7000rpm
	使 用 燃 料	混合ガソリン
	燃料タンク容量 (ℓ)	0.8
	始 動 方 式	リコイルスタータ式
	エアクリーナ	スポンジエレメント
	点 火 プ ラ グ	NGK-BPM6A
走 行 部	ロ ー タ	分割型
	爪	ナタ爪
	車軸ロータ径 (mm)	220
	耕うん幅 (mm)	220・330
	クラッチ形式	デッドマンクラッチ
	変 速 段 数	前進1段
	耕うん軸回転数 (rpm) (エンジン7000rpm時)	166.7
	車軸の形状・寸法 (mm)	丸軸 20・長さ90
	ハンドル調節	上下3段(ノブ)

## 付属工具一覧表



番号	品名	個数
1	プラグレンチ (19×21)	1
2	プラグレンチ用バー	1
3	取扱説明書	1
4	保証書	1

## 純正部品を使いましょう

---

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。  
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正アタッチメントを使いましょう

---

純正アタッチメントは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。  
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



■商品のお取引に関することは、お買いあげの販売店へお問い合わせください。

■技術的なことや修理に関することは、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にお問い合わせ下さい。

### お客様ご相談窓口

- 関東事業部 〒365-0028 埼玉県鴻巣市大字鴻巣字沼田 1202  
TEL (0485) 43-3620 FAX (0485) 43-5462
- 明石事業部 〒673-8666 兵庫県明石市川崎町 1-1 (川崎重工 明石工場内)  
TEL (078) 921-1058 FAX (078) 927-2946

- TEL  0120-007-660 (フリーダイヤル)

受付時間：午前10時～午後3時(但し、土曜・日曜・祝日など当社休日は受け付けできません。)

発売元

株式会社 **アグリップ**

本社：〒673-8666 兵庫県明石市川崎町 1-1 (川崎重工 明石工場内)  
TEL (078) 921-1058 FAX (078) 927-2946

営業所所在地：仙台・近江八幡・熊本

1131-990-001-00